

# Palace Dome

〔パレスドーム〕

取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。



コールマンジャパン株式会社

お問い合わせフリーコール

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

# 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破れの原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

# 収納・管理の注意

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

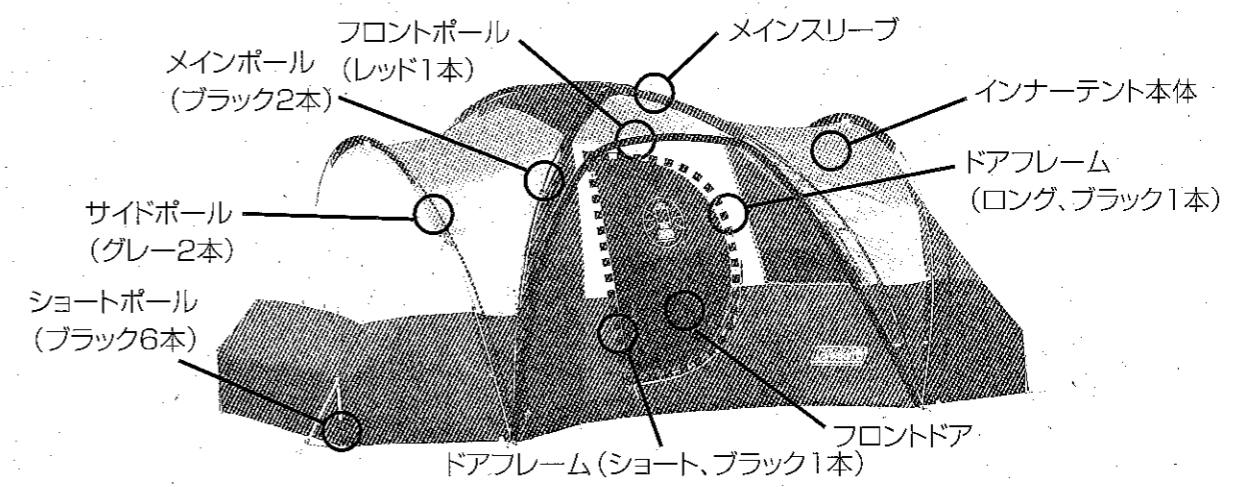
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態ですと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手が届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容

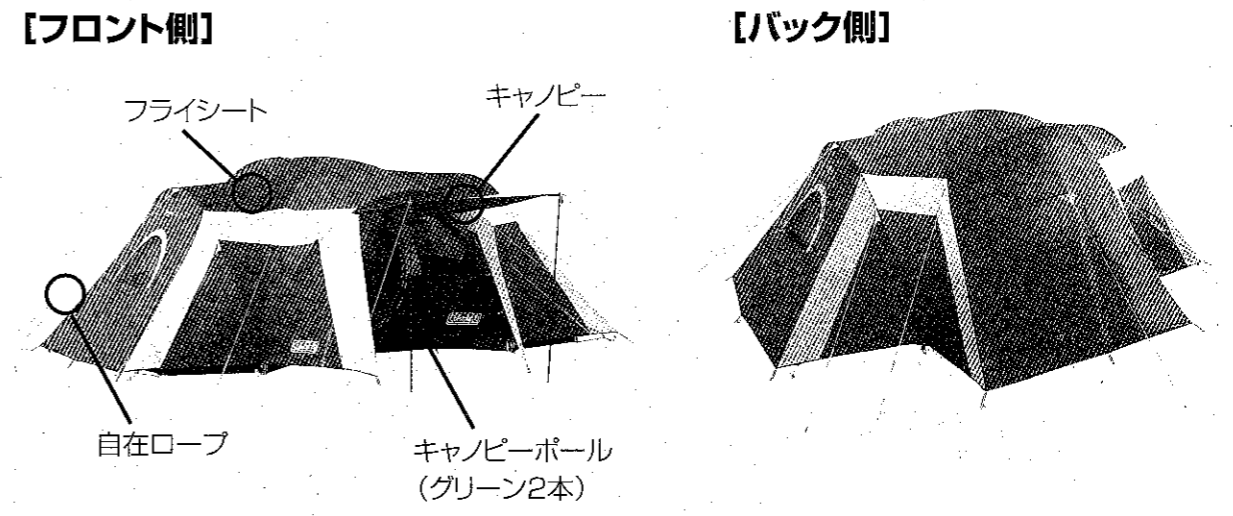
**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●本体(インナーテント)	1張
●フライシート	1張
●メインポール(ブラック)	2本
●フロントポール(レッド)	1本
●サイドポール(グレー)	2本
●パイプポール(イエロー)	1本
●ドアフレーム(ロング、ブラック)	1本
●ドアフレーム(ショート、ブラック)	1本
●ショートポール(ブラック)	6本
●キャンピールポール(グリーン)	2本
●自在ロープ(グリーン)	6本
●自在ロープ(ベージュ)	9本
●プラスチックペグ	10本
●スチールピンペグ	28本
●ハンマー	1ヶ

## インナーテント設置時



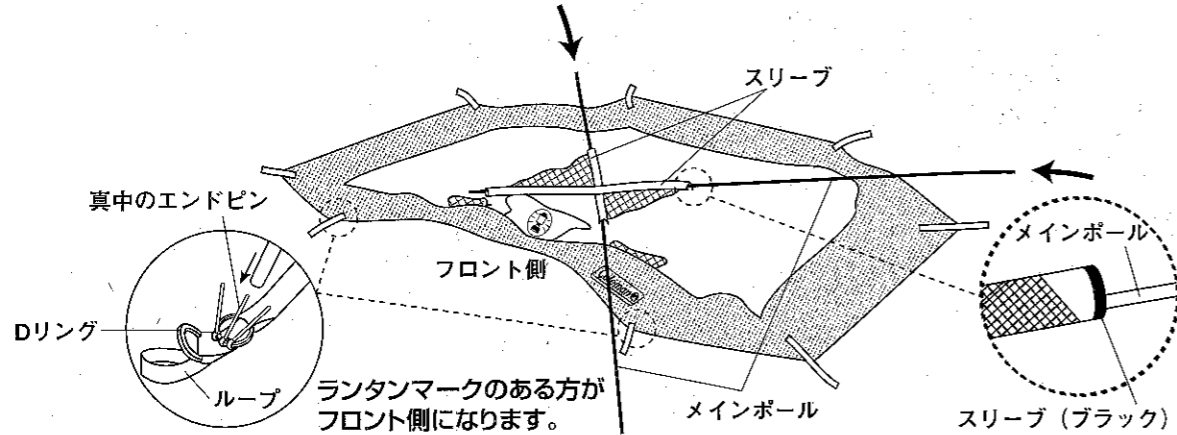
## フライシート装着時



# 設営手順

## STEP 1

インナーテントを広げ、メインポール(ブラック)を伸ばしてメインスリーブ(先端がブラック)に通し、フロント側のエンドピン2ヶ所にセットします。フロント側のエンドピンは3本ありますが、メインポールは必ず真ん中のピンにセットします。フロントドアは空気が入りやすいよう、あらかじめファスナーを全開にしておきます。

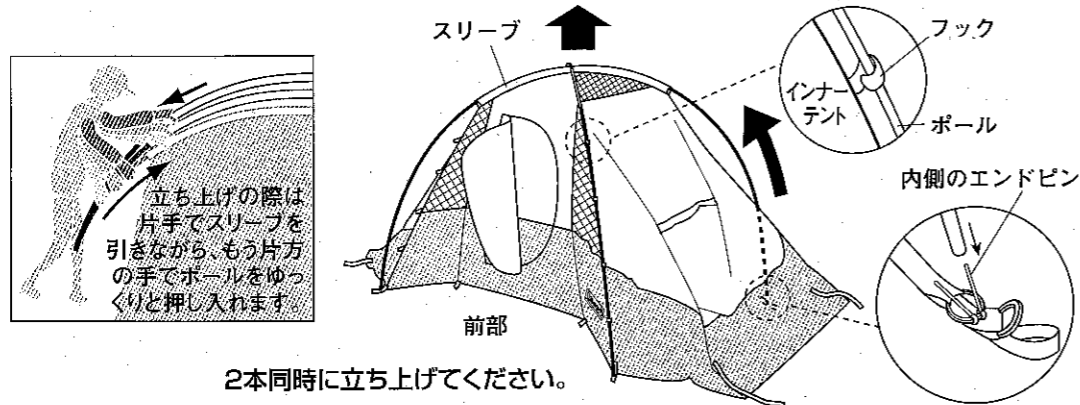


**注意**

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。また、スリーブに通す際はポールを引っ張らず必ず押し入れてください。

## STEP 2

スリーブを持ちながらメインポールをそれぞれ押し入れ、本体を立ち上げます。立ち上がった後ポールバック側もエンドピンにセットします。バック側部のエンドピンは2本ありますが、メインポールは必ず内側のピンにセットします。立ち上げた後、インナーテントに付いているフックを各ポールに掛けます(16ヶ所)。

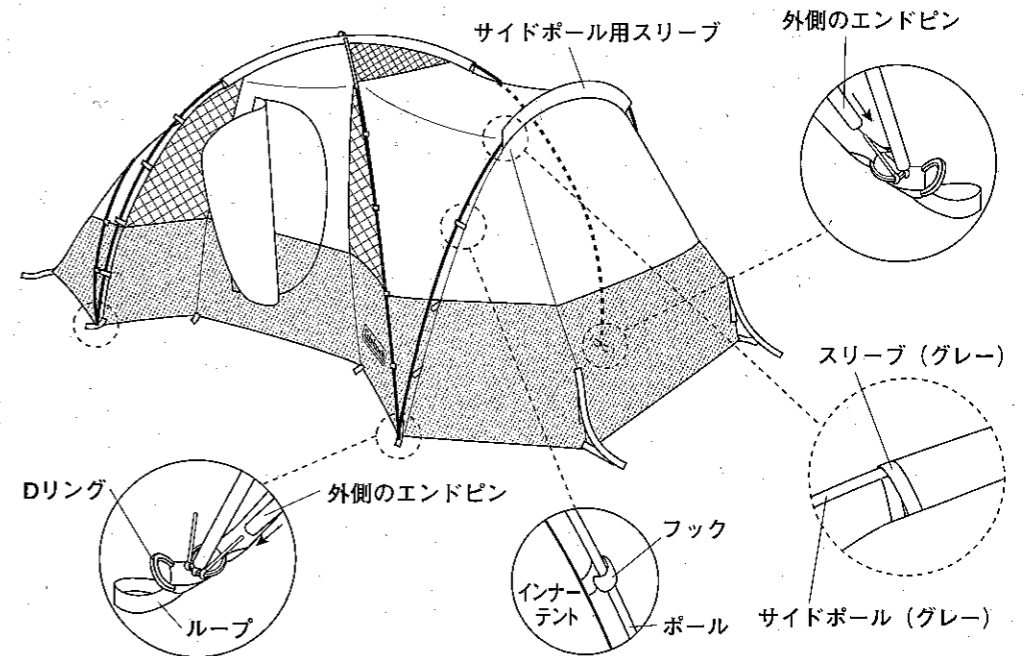


**注意**

スリーブを持たずに押し込むとポールが折れたり本体がやぶれる事があります。メインポールは2人で2本同時に、徐々に立ち上げてください。フックを掛ける際に、手をはさまないように気をつけてください。ポールをエンドピンに差し込む際に、指をはさまないように気をつけてください。

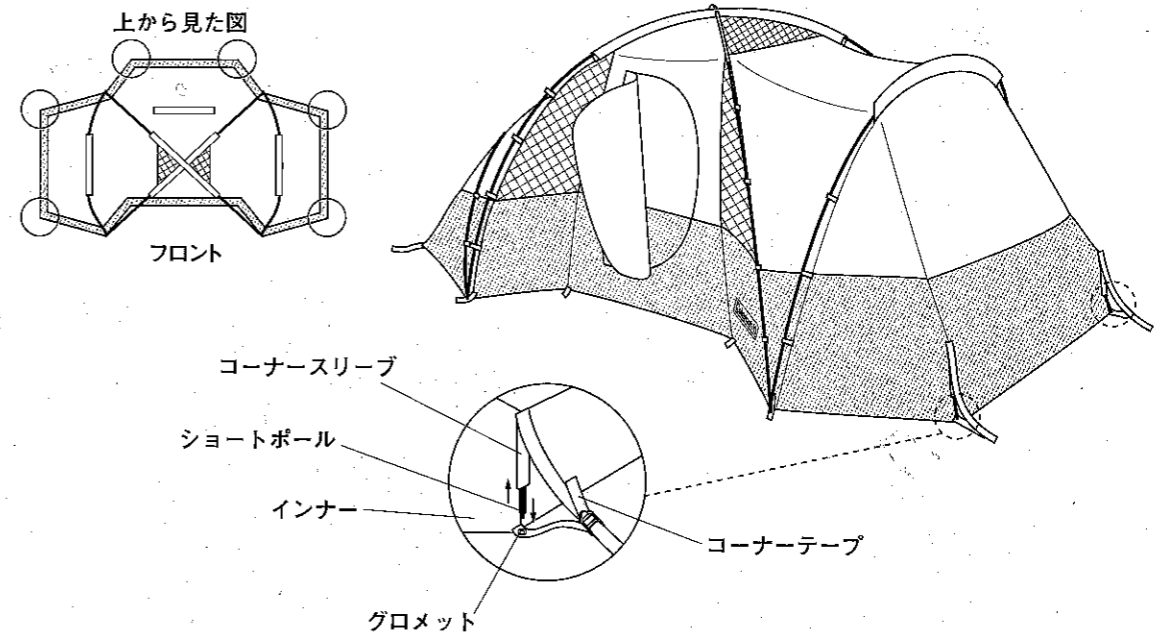
## STEP 3

サイドポール(グレー)を左右のスリーブ(先端がグレー)に通し、エンドピンに差し込みます。フロント側のエンドピンは3本、バック側のエンドピンは2本ありますが、サイドポールはそれぞれ一番外側のピンにセットします。セットしたら、インナーテントに付いているフックを各ポールに掛けます(12ヶ所)。



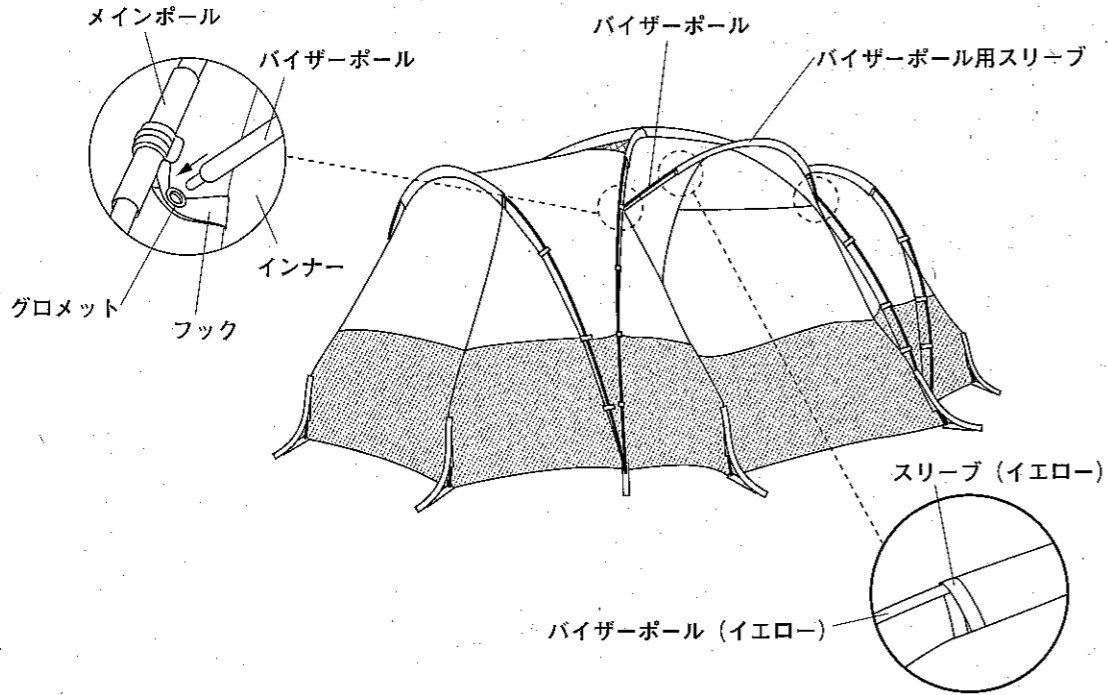
## STEP 4

ショートポール(ブラック)を、コーナー6ヶ所のスリーブに下から通し、反対側はグロメットに差し込みます。このとき、コーナーテープはあらかじめゆるめておいてください。



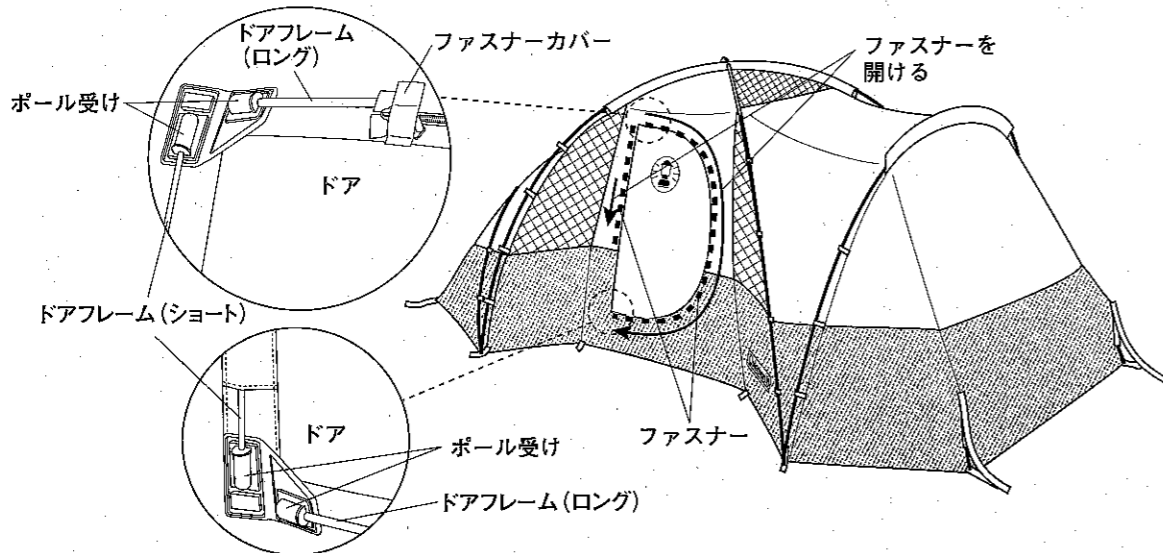
# STEP 5

バイザーポール(イエロー)を、バック側のスリーブ(先端がイエロー)に通し、インナーとメインポールを固定したフックのグロメットに差し込みます。



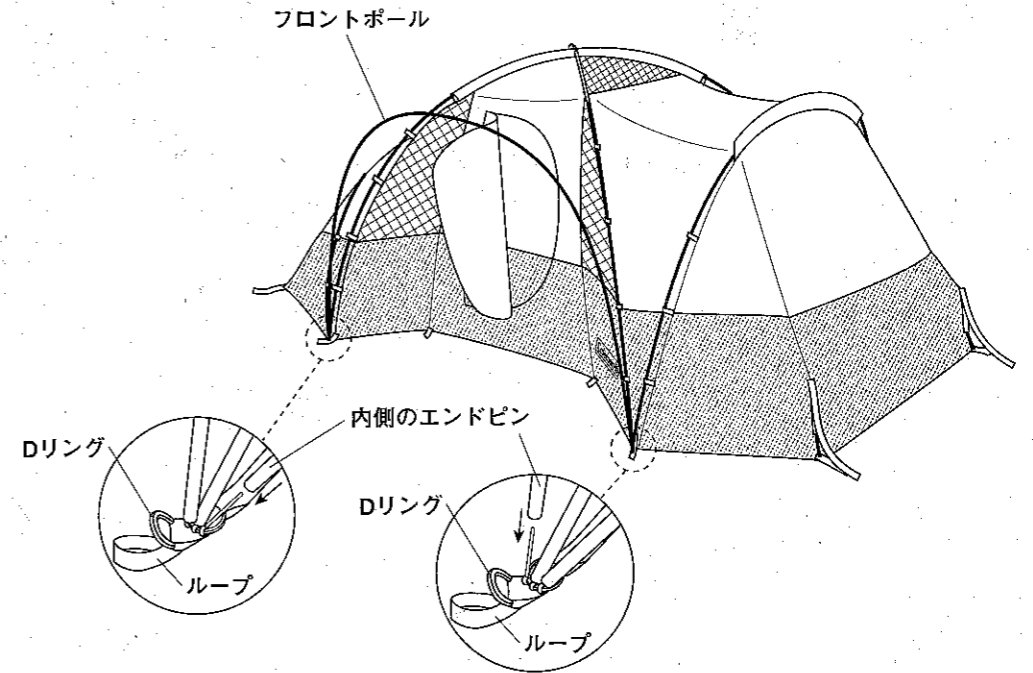
# STEP 6

ドアにフレームをセットします。まず、ドアのヒンジ(直線)側のファスナーを開け、ドアフレーム(ショート)を中を通して両端をポール受けに入れ、ファスナーを閉めます。つぎに、ドアの開口(曲線)側のファスナーを開け、ドアフレーム(ロング)を中を通して両端をポール受けに入れ、ファスナーを閉めます。この時ファスナーの先端はドア開閉用のファスナーと間違えぬよう、ファスナーカバーの中にかくしてください。



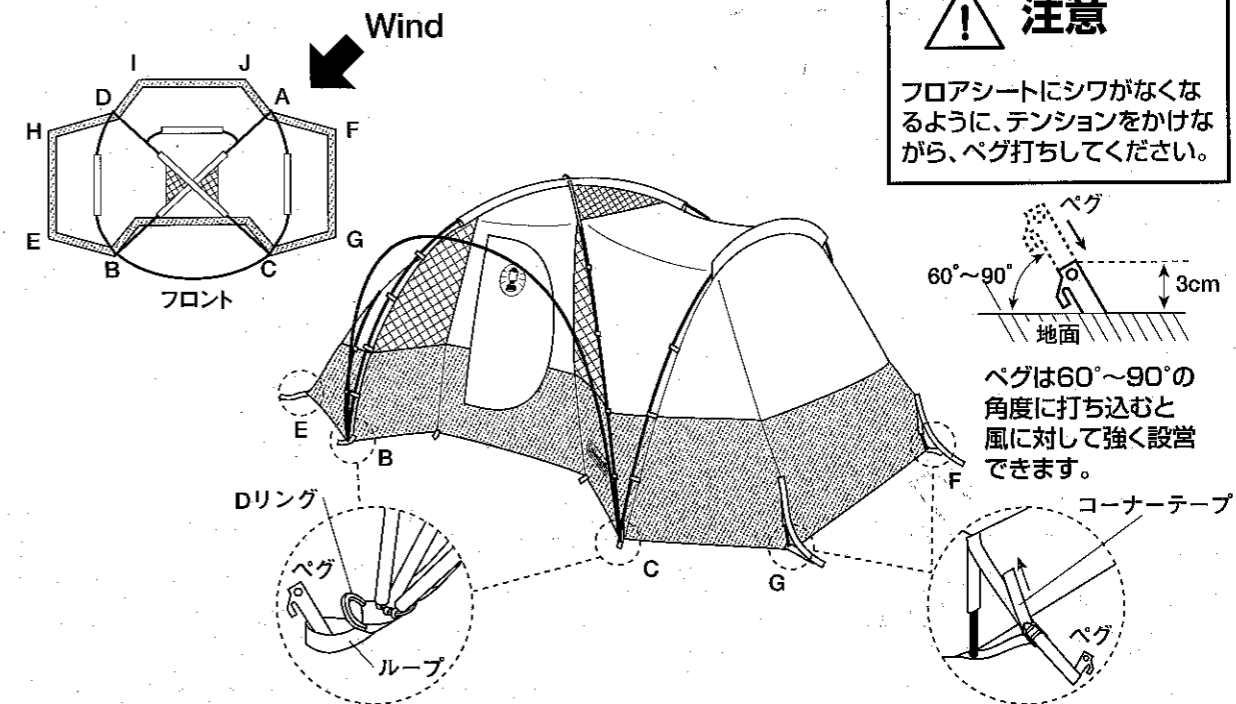
# STEP 6

フロントポール(レッド)の先端をエンドピン2ヶ所にセットします。フロント側のエンドピンは3本ありますが、メインポールが一番内側のピンにセットします。



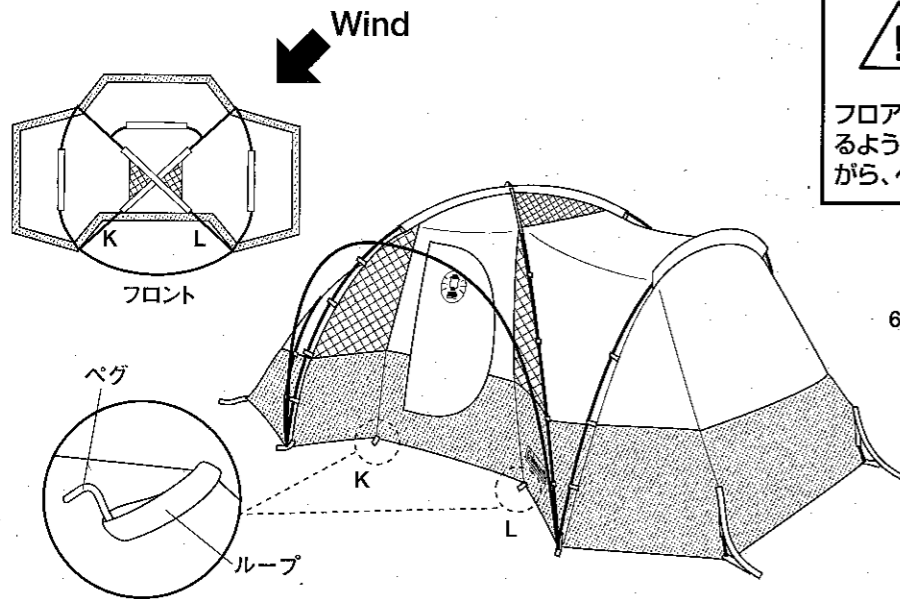
# STEP 8

設営位置を決め、図のように10ヶ所のループを風上より順に(A~J)対角線にプラスチックペグでペグ打ちしてください。ペグ打ちが終わったら、ゆるめておいたコーナーテープをしっかりと締め込んで、コーナーのショートポールを直立させます。

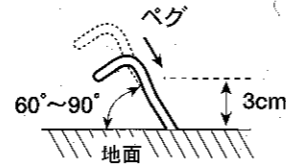


**注意**  
フロアシートにシワがなくなるように、テンションをかけながら、ペグ打ちしてください。

**STEP 9** 次に、図のようにドア横の2ヶ所のループをプラスチックピンペグでペグ打ちして (K,L)、インナーテントを固定してください。

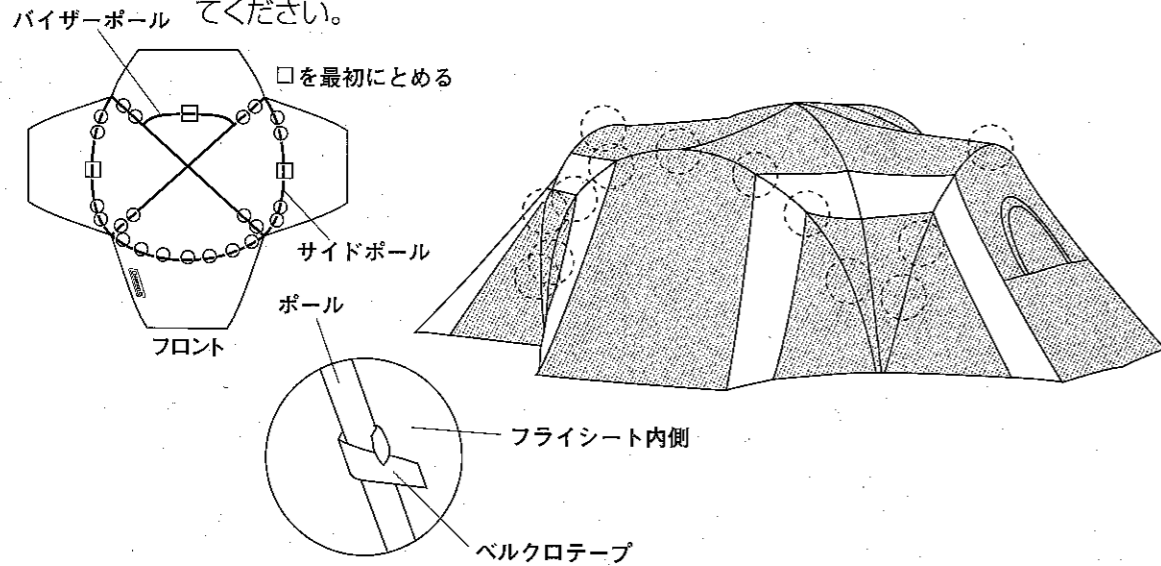


**注意**  
 フロアシートにシワがなくなるように、テンションをかけながら、ペグ打ちしてください。



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

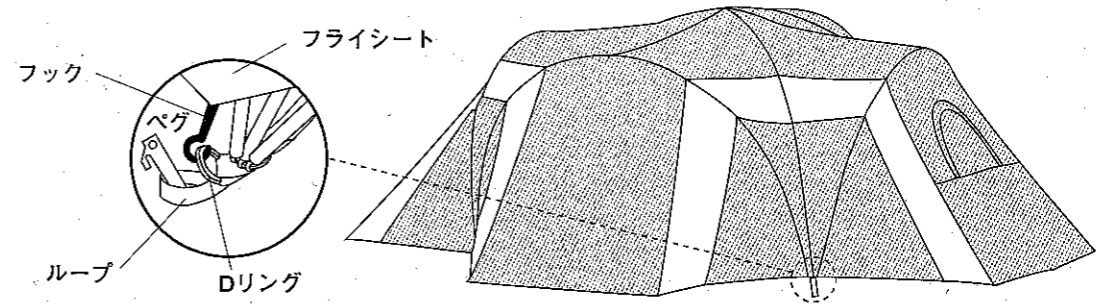
**STEP 10** フライシートをかぶせます。風が吹いている場合は、フライシートを風上側からかぶせます。この時にフロントポール(レッド)はフライシートの内側になります。フライシート内側にあるベルクロテープ(26ヶ所)を各ポールに止めて固定します。このとき、最初にサイドポールおよびバイザーポールの中央スリーブの部分を押めてください。



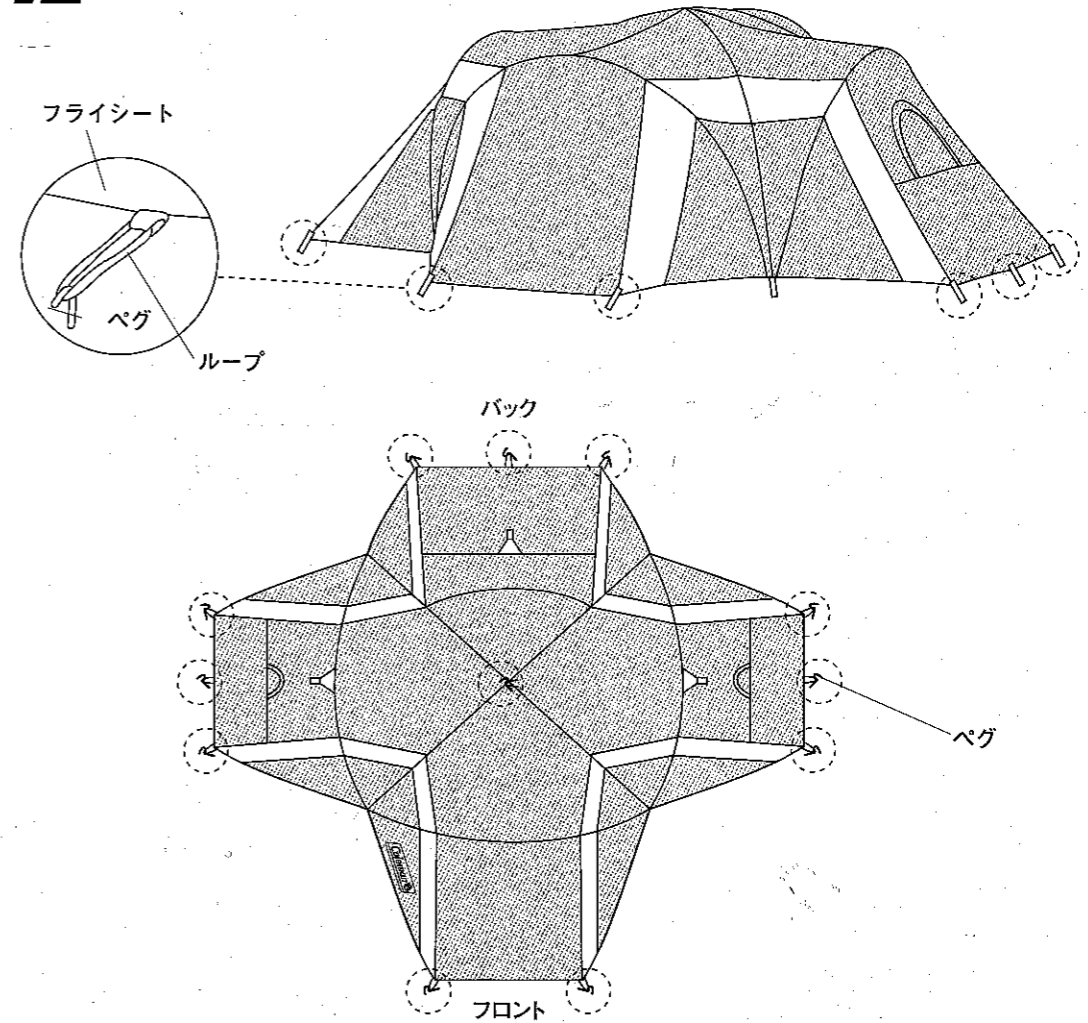
**注意**

フライシートはテントインナー室内と外気との温度差を緩和し、テント内側の結露を防止する役割を果たしています。センターループ・ストームガードを張り、フライシートとインナーテントの間に空間をつくるように、必ずご活用ください。

**STEP 11** フライシートのフック(4ヶ所)を、メインポールの先端にかけます。



**STEP 12** フライシートのすべてのループを張り出し、ペグで11ヶ所固定します。

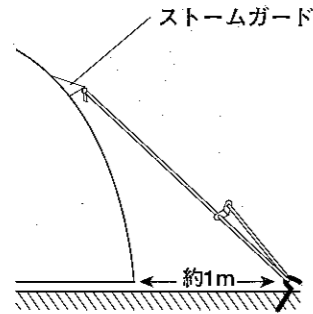
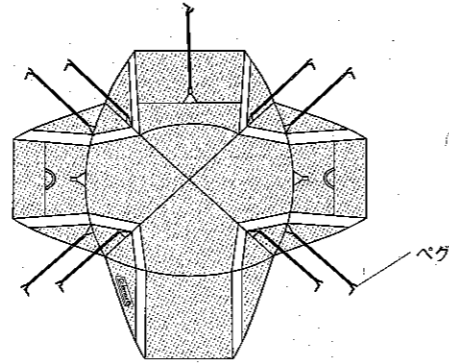
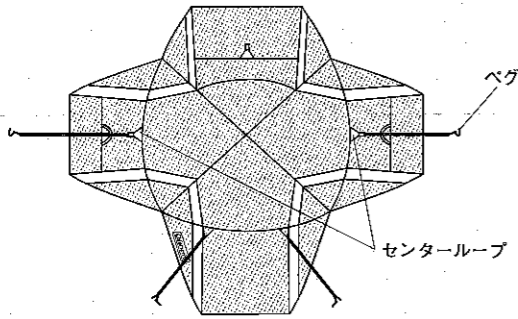


# STEP 13

ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、テントの安定性を高めます。両側面及び各コーナーのストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

自在ロープ (グリーン)

自在ロープ (ベージュ)



上・左図の要領にて8カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないよう調節してください。

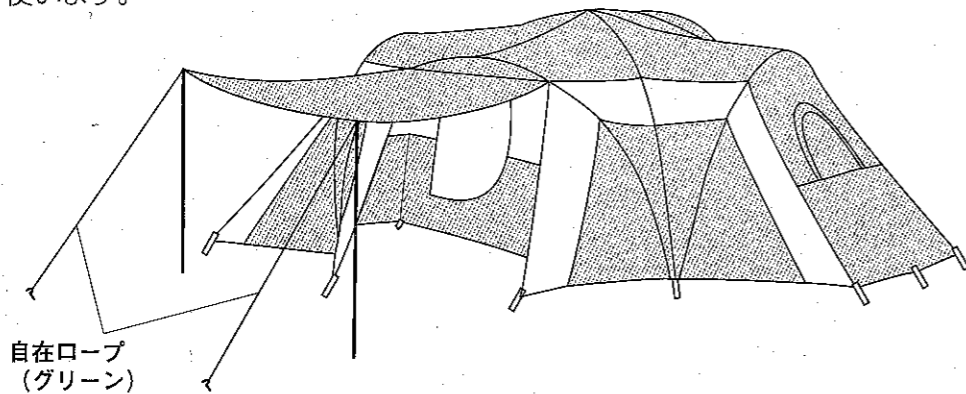
自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

## 注意

大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

# STEP 14

前室をキャンピーとして活用する時は、付属のキャンピー用ポール(グリーン)を使います。



## 注意

風の強い時は、必ずキャンピーを閉じてください。ポールが折れる恐れがあります。

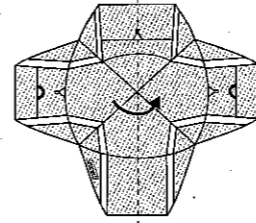
# 撤収手順

## STEP 1

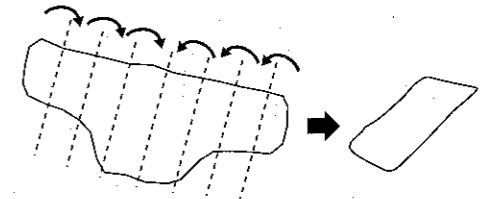
フライシートを固定したペグ、Dリングに掛けたフック、内側にあるベルクロテープをすべて外して、フライシートをインナーテントから完全に取り外し、下図のようにしてたたみます。

## 注意

テント・タープ生地を濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテント(タープの場合スキン)の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



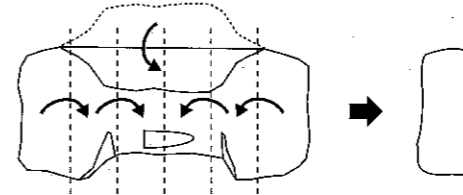
中央を折り、半分にする。



両端を中へ折り込んでいき、1/8のサイズにたたむ。

## STEP 2

インナーテントのポールとフレームを全て外します。このときは紛失や破損を防ぐため、先にショートポール及びドアフレームを外すようにします。空気を逃がすためにフロントドアの下部をあらかじめ開けておいてから、きれいに広げた状態で、下図のようにしてたたみます。



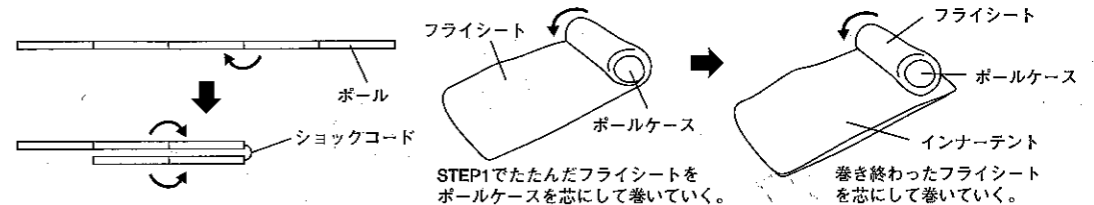
両端を中へ折り込んでいき、1/8のサイズにたたむ。

## 注意

ポールをスリーブから抜く際には、引っ張らず押すようにしてください。

## STEP 3

ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



STEP1でたたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。

巻き終わったフライシートを芯にして巻いていく。

## 注意

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。